



ロータリーは
機会の扉を開く

ロータリー親睦活動月間

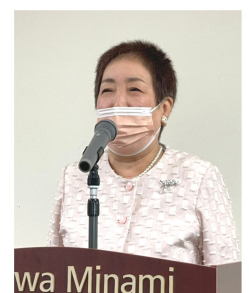
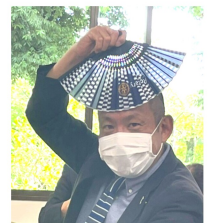
柏南ロータリークラブ 会報

第41代会長 浅野繁 幹事 竹村隆一郎

2020-2021 浅野年度スローガン
～ 新しい風を感じよう ～

第1874回 2021年6月29日 (火曜日)

交替式





会長挨拶

皆様のご協力のおかげで、何とか交替式を迎えることができました。1年間、浅野年度の運営にご協力いただき、誠にありがとうございました。最後の会長挨拶となりますが、この場をお借りして、一年間を総括させていただきます。

コロナ禍で色々な活動が制限されておりましたので、どのように運営すべきか不安の中でのスタートでした。また、出席率の悪い私が会長でし、会長を引き受ける理由を「順番以外の何物でもない」と言い切って困惑させた熱量の低さでしたので、きちんと会長が務まるのか、皆様にとっても大変不安だったのではないかと思います。私は、幹事を誰にお願いするかでもつまずいておりました。当初、ベテランの方をお願いすれば何とかなるであろうと思い、メロンを片手に山崎会員に幹事をお願いしました。ただ、山崎会員からは、自分が幹事になってしまうと、後輩が幹事になるチャンスを奪うことになり、クラブが成長しないと、首を縦には振っていただけませんでした。多分、私の甘い考えもお見通しだったのではないかと思います。そんな窮地を救ってくれたのが竹村幹事です。メロンではなくメロンパンの用意しかできなかったのですが、快く幹事を引き受けていただきました。年齢も離れていなかったため、何事も相談しやすく、また何より、二人で試行錯誤・二人三脚しながら成長し合えたので、本当に竹村会員に幹事をお願いして良かったなどと感謝しております。主体性のない、優柔不断な私を支えていただき、本当にありがとうございました。また、そんな不安定な二人を支えていただいた事務局の齋藤さんにも、この場をお借りして、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

この一年間を振り返りますと、新しい風を感じようというスローガンのもと、戦略計画委員会も設置できましたし、Zoom参加によるハイブリット形式の例会も運営できるようになりました。

また、このコロナ禍の中、奉仕活動の面でも、よく頑張ったのではないかと思います。ふれあい訪問やとうかつ草の根フードバンクへの支援も出来まし、新しい支援として、柏市の学習支援事業を応援することもできました。そして、今年度中の完成とまでは至りませんでしたが、グローバル補助金を利用したケニアの医療施設に対する支援も間もなくゴールを迎えようとしております。このコロナ禍で感染予防の側面から考えると、奉仕活動自体も控えるべきではないのかと迷うところもありました。

ただ、コロナ禍における看護師等の医療関係の方々や災害時における自衛隊の方々やが常に活動を止めないのと同じように、我々奉仕団体も、支援を必要としている方々がいる限り、活動を止めてしまてはいけないのではないかとこの奉仕プロジェクト委員長の小林亘会員の言葉が胸に響きまして、何としても奉仕活動を継続しなければという想いで活動することができました。

そんな風に色々活動できたなと振り返ることができたのも、広報委員会の方々がきちんとSNS等で活動内容をアップしていただいているからだと思っています。例会中止期間中の瓦版の作成や、活動をするたびにSNSで迅速に活動報告をしてくれる広報委員会のおかげで、当クラブは常に血が通っておりまし。クラブが活性化しているかどうかは広報委員会の力によるところが大きいのだと感じた1年でもありました。広報委員会の皆様、1年間、本当にありがとうございました。

また、今年度は、財団及び米山委員会のご尽力もあり、寄付も目標額に達しましたし、運営面では、このコロナ禍で流動的なプログラムの中、SAAや出席委員会の皆様にも助けていただきました。時間の関係で全ての方のお名前を挙げることはできませんが、先日ご入会いただいた工藤会員を含め、ここにいらっしゃる全ての皆様のご協力のおかげで、とても充実した一年であったと思います。

以上のように、奉仕活動や寄付、運営面では達成感・充実感がありまし、やはり、納涼例会、忘年例会・新年例会、観桜例会、親睦旅行と、会員間の親睦を深める親睦活動が全くできなかったことが残念でなりません。今年度は、奉仕活動を進める中で親睦を深めることができましたが、やはり、ロータリークラブの魅力は、様々な業種の会員が集まり、その会員同士の親睦を深め、そこから奉仕活動に発展させるというのが、歴史ある日本のロータリークラブが大切にしてきたことであります。奉仕活動を通した親睦ですと、どうしても担当する委員会のメンバーだけの親睦になってしまいますので、全会員を対象にした親睦行事が全くできなかったのは、本当に心残りです。この心残りの解消は、本日の交替式をもって、次年度の齋藤由紀年度にバトンタッチさせていただきます。

次年度の齋藤由紀年度による当クラブの益々の発展を祈念し、私の最後の会長挨拶とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。



例会欠席の場合は、前週金曜日までに必ず事務局へ連絡をお願いします。

(TEL/FAX/E-mail/LINE)